

子どもの成長に寄りそう

1 子育てと子育ち

YMCAは、多様やサービスやプログラムを通して、子育て・子育ちの両面から子ども一人ひとりの成長に寄り添っています。保育やアフタースクールといった安心の場づくり、ウエルネスや語学教室・国際交流といった出会いや成長につながっています。

子育て支援 YMCA三条保育園／YMCA高倉おさなご園

保育園に入っていない乳児と幼児を対象として「Yわいひろば」をはじめました。何してあそぶ？○○好き？積み木やパズル、木馬にお絵かきと子どもたちがお母さんと一緒に楽しく遊べるようにコーナー作りをしています。在園児の年長組さんとのふれ合いや、お母さんたちの育児相談を受けながらマナホールでゆったり過ごしています。

待機児童を解消し、YMCAを必要として下さっている方に喜んで保育を提供しようと、2021年4月に分園の「YMCA高倉おさなご園」を開園しました。0歳児から2歳児までの園児が、家庭のようなぬくもりを感じて過ごせる空間を目指しています。

アフタースクール

週に5回～2回と参加頻度は子どもによって様々ですが、毎日平均20名前後の子どもたちが放課後を過ごしました。宿題を済ませた後に、読書やおもちゃあそび、広いホールで体を動かすなど、各自が思い思いに、また仲間と一緒に楽しく過ごすことができました。「Amazonほしいものリスト」からの寄贈物品もいただき、子どもたちが楽しく安全に日常を過ごす機会を提供できました。

英語教育

コロナ禍ではありましたが、英語授業に多くの子ども達が参加しました。

夏季・春季休みを利用し、短期英語プログラムを実施しました。



おさなご園



アフタースクール



英語教育

DATA

YMCA三条保育園 YMCA高倉おさなご園

アフタースクール

英語教育

乳児（0歳～2歳）	46人
幼児（3歳～5歳）	49人
95人	

通常クラス	32人
夏休みクラス	11人
冬休みクラス	2人
45人	

子ども英語教育	59人
成人英語教育	19人
	78人

ウェルネス 幼児・小学生・中高生

スイミング

泳力別の少人数グループ指導で半年間、同じ目標をもつ仲間と共に週1回～2回、楽しさと達成感を大切に、練習を行いました。

また、水遊びプログラムや、日頃の練習の成果を確認するチャレンジカップを半年に1度開催しました。

夏休みの前には毎年、水上安全の取組みとして着衣泳体験を行ってきましたが、集まらなくても視覚的に学べるようにと、担当スタッフが啓発映像を製作、YouTubeで動画配信（633回視聴）し、新たなスタイルで啓発活動を行うことができました。



障がい児スイミング

小学生から中学生まで、様々な学年と特性の子どもたちが毎週1回のクラスに参加しました。

水中でのボディコントロール能力を高め、水辺の事故から自分で身を守れるようになること、水中での運動の楽しさを知ること、基礎体力の向上を目指して練習を行いました。



体操

キャンセル待ちのニーズに応えるため、年少～小学低学年向けの楽しく体を動かす運動遊び中心のクラスと、鉄棒、跳び箱、マット運動が苦手な子ども向けのクラスを新たに1クラスずつ設け、計9クラスで124名が参加しました。

楽しさをベースに、自らの向上心で身体を動かす楽しさを覚えること、苦手克服を目標とし、目標への細やかなステップを踏む指導を大切にして行いました。



サッカー／バスケットボール

京都市内4地域の体育館やグラウンドを利用して行いました。近隣YMCAとの練習試合や日曜日の特別練習会を開催し、各地域の子どもたちの交流も図りつつ、同じ目標を持つ仲間同士のつながりを大切にし、サッカーやバスケットボールをプレイすることの楽しみを感じながら技術の向上を目指しました。



サッカー



バスケットボール

DATA

スイミング

通常クラス	760人
夏期講習	313人
春期講習	200人
1,273人	

体操

通常クラス	124人
夏期講習	127人
春期講習	124人
375人	

サッカー／バスケットボール

サッカー	73人
バスケットボール	27人
100人	

野外／キャンプ 幼児・小学生・中高生

自然体験学習プログラム

学年別に5チームと、鉄道好きの子ども達向けのチームに分かれて月1回、年間10回の活動に164名が参加しました。新型コロナウィルス感染症の影響で旅行やお出かけができなかった期間があった反動からか、2019年度までの活動よりどのチームも出席率が高く（5%増）、屋外活動へのニーズの高さを感じました。

サマーキャンプ

活動拠点としてのサバエ教育キャンプ場（以下、サバエキャンプ）とYMCAリトリートセンターでのキャンプを主軸とし、琵琶湖畔でいかだ作りをテーマとしたキャンプ、宮津市の海でのキャンプも行いました。

特に毎年多くの子どもたちが利用するサバエキャンプでは、新型コロナの影響下でもテントキャンプができるようになるとワイスメンズクラブ京都部各クラブから寄贈いただいたソロテントを利用した長期のキャンプも行い、安全を守りつつ、子どもの年齢や体力に合わせてたくましく成長できる体験教育を行うことができました。

スキーキャンプ

雪あそびからスキーまで、近郊の滋賀県高島市での初心者向けを6キャンプ、志賀高原での初心者から上級者まで楽しめる8キャンプを行いました。今シーズンは豊富な積雪量で、滋賀県でも新雪を楽しめる時もあり、生まれて初めてスキーをする子どもも、リフトに乗って滑り降りる楽しさを経験することができました。



サマーキャンプ（いかだ作り）



サマーキャンプ（ドラム缶風呂）



スキーキャンプ

発達支援 サポートプログラム

月に2回のソーシャルスキルトレーニングのクラス、月に1回の中高生向けのクラス、年10回の小学生向けの野外活動を行いました。それぞれのクラスでは、参加される子ども一人ひとりの特性に合わせてスタッフやリーダーが接し方を工夫し、子どもが置かれている環境に配慮することを大切にして一人ひとりの成長を見守りました。



DATA

野外／キャンプ

自然体験学習	164人
サマーキャンプ	303人
スキーキャンプ	243人
710人	

発達支援 サポートプログラム

小学生	20人
中高生	5人
	25人